

2021 年度

京都教育大学附属桃山中学校

自己評価実施計画書

1. 本校の基本情報

2021年4月現在

(1) 学校名	京都教育大学附属桃山中学校
(2) 所在地	京都市伏見区桃山井伊掃部東町16
(3) 学級数等	一般学級9学級(1学年3学級) 収容定員360人(1学級40人) 帰国生徒教育学級3学級(1学年1学級) 45人(1学級15人) ただし、第3学年は混合編成学級4学級で構成されている。
(4) 児童生徒数	396人(男子202人・女子194人)
(5) 教職員数	校長(併任)1, 副校長1, 主幹教諭1, 教諭23(うち任期付教諭3), 養護教諭1, 非常勤講師3, ALT2, 事務職員3(専任1, 事務補佐員2), 用務員1

2. 本校の教育目標

「豊かな感性をもち、周りとかかわりながら自己を伸ばす生徒の育成」

生徒一人ひとりの個性を尊重し、豊かな情操を培うとともに、社会や人との関わりの中で主体的に学ぶ生徒の育成をめざす。「豊かな感性、輝く個性、広がる共生」

3. 京都教育大学附属学校園の目的

教育の実験、実証並びに実習の機関として、本学に附属学校(幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校)を置く。(本学学則第56条)

本学附属学校は、児童、生徒又は幼児に対して、学校教育法に定めるところにより、教育又は保育を行なうとともに、本学における児童、生徒又は幼児の教育又は保育に関する研究に協力し、本学の計画に従い、学生の教育実習の実施に当たることを目的とする。(本学附属学校規程第2条)

4. 本校の学校教育計画(年度重点目標)

- (1) 「学び続ける学校」として、より良い教育課程と授業の改善に向けて教員が一丸となって追究する学校(研究体制の確立)をめざす。
- (2) 附属学校として、本学、附属学校園と連携、協働して、実践研究・教員養成の充実をめざす。
- (3) 生徒が深く豊かに学び仲間と共に人として成長できると共に、人として大切にされる学校をめざす。
- (4) 校内における危機管理の確立に努め、安心して安全な学校づくりをより一層めざす。
- (5) 学校(教職員)と生徒、保護者(地域を含む)との信頼関係が構築された学校をめざす。

5. 附属学校園の機能向上に関する取組

- (1) 教育実習指導のより一層の充実及び教育実習の改善を図る。
- (2) 大学の方針に基づく教員養成及び実践的教育研究に協力する。
- (3) 地域の教育力向上への貢献及び教育研究活動の成果の公表を図る。
- (4) 業務改善及び教職員の働き方に関する取り組みを推進する。

6. 本校の特色

本校は、平常の授業をより充実させ、確かな学ぶ力と豊かな人間性の育成を目指すとともに、「豊かな感性、輝く個性、広がる共生」を合い言葉に、21世紀の変化の激しいグローバル社会で主体的に協働的に課題解決を図ることのできる人づくりを目指している。また、一般学級とともに、西日本の国立大学附属中学校では唯一の帰国生徒教育学級を特設し、帰国生徒の個々の課題に応じた特別な指導や帰国生徒のグローバルキャリアを生かした全校的な国際教育を推進し、その成果を地域に発信することで、学校環境の内外において進行する国際化への対応に貢献している。多様な背景を持つ生徒たちが共に学ぶことで、お互いの違いを理解し尊重しながら、学びあい、高めあう、多文化共生につながる、寛容で優しい学校文化と風土が構築されている。隣接する附属幼稚園・附属桃山小学校とは、平成7年度より幼小中連携教育研究を、また附属桃山小学校、附属高等学校とは、12年間の英語教育の連携研究に取組み、英語教育の高度化をめざした授業開発をおこなっている。さらに大学教員との連携のもと、新学習指導要領の全面実施に対応した指導と評価の研究を推進し、新しい時代に必要とされる資質・能力の育成を目指して、「学び続ける学校をめざして～自己を見つめ、学びの展望を持った生徒を育む深い学びの研究～」をテーマに、現在その実践研究を進めている。

2021年度 学校評価 年間計画

学校名: 京都教育大学附属桃山中学校

時期	評価の検討と実施等
2021年 3月	2020年度学校自己評価実施、学校評価結果及び改善策とりまとめ 保護者プリントにて2020年度学校評価結果及び改善策等を保護者へ周知
4月	2021年度学校運営方針、重点教育目標等策定 学校便り「ひろがる環」に2021年度学校運営方針、重点教育目標等を掲載
5月	2020年度学校評価結果及び改善策、2021年度学校評価項目、2021年度学校評価年間計画の学長への報告
6月	学校評議員候補者の確定
7月	全学年保護者懇談実施
8月	
9月	
10月	附属桃山地区三校園連携教育研究発表会参加者アンケート実施
11月	本校研究発表会参加者アンケート実施
12月	全学年保護者懇談実施
2022年 1月	生徒アンケート実施
2月	保護者アンケート実施 教職員アンケート実施
3月	保護者プリントにて2021年度学校評価結果及び改善策等を保護者へ周知 学校評議員会実施 学校自己評価実施、学校評価結果及び改善策とりまとめ
4月	2021年度学校運営方針、重点教育目標等策定 学校便り等に2021年度学校運営方針、重点教育目標等を掲載
5月	2021年度学校評価結果及び改善策、2022年度学校評価項目、2022年度学校評価年間計画の学長への報告

2021 年度 京都教育大学附属桃山中学校 学校評価

自己評価	
A	十分達成できた
B	概ね達成できた
C	十分には達成できなかった
D	ほとんど達成できなかった

① 教育活動その他の学校運営に関する事項（学校教育法に基づく評価）

本年度の 重点目標	具体的な取組内容	自己点検評価	自己 評価 区分	学校関係者評価	改善策
(1) 教育方法と評価研究及び授業実践研究の推進	<p>①新学習指導要領の全面実施に対応した教科、領域における指導の充実と評価の研究を推進し、新しい時代に必要な資質・能力の育成のために授業の工夫と改善を行う。特に「深い学び」を生み出す授業づくりと「授業研究」のあり方について、学校全体の研究体制を整備して実践研究を進める。</p> <p>②本学教員及び他大学の研究者の指導助言を得ながら、授業研究と開発を行い、その成果を研究発表会等で広く地域に発信する。</p>	*	*	*	*
(2) 本学、附属学校園との連携・協働、実践研究、教員養成の充実	<p>①プロジェクト研究等の実践的教育研究を大学教員と連携して行う。本校独自の帰国生徒教育や総合的な学習等の特色ある教育活動の充実と発展、及び各教科や領域におけるカリキュラム開発や実践研究を行う。</p> <p>②附属幼稚園、附属桃山小学校と「問いを持ち、学び続ける子」の育成を目指して幼小中連携教育研究の充実発展に取り組む。</p>	*	*	*	*

<p>(3) 深く豊かに学び、人として成長できる学校づくり</p>	<p>①質の高い、確かな学力を保障するとともに、「深い学び」を生み出す授業開発と共に、学習規律、学習環境の整備と充実に取り組む。</p> <p>②道徳教育、特別活動等の充実を図り、お互いの人権が尊重され、自己肯定感、自尊感情、規範意識が育まれる学級、学年、全校集団づくりを推進する。</p>	*	*	*	*
<p>(4) 校内の危機管理の確立と安心・安全な学校づくり</p>	<p>①日常的に生徒の行動や精神面での様子の掌握に努め、教員間の情報共有と迅速な対応により問題事象の未然防止に努める。また問題事象を確認した場合は、迅速に情報共有を行い、一致した指導方針で解決を図る。</p> <p>②学校安全計画に基づき、避難訓練等を計画的に実施すると共に、生徒及び教職員の防災意識の向上につながるよう、これまでの目的及び内容の見直し、生徒指導方針及びマニュアル等の改善を進める。</p>	*	*	*	*
<p>(5) 学校と生徒・保護者との信頼関係の構築</p>	<p>①教員間の情報共有と指導の統一及び教員研修の充実を進め、生徒一人ひとりへの指導、支援を丁寧確実に、保護者との連絡、連携を密に行う。</p> <p>②学校 HP や学校・学年・学級便り及びメール配信等、また懇談会や育友会等を通して、本校の教育活動についてより効果的に情報提供を行う。</p>	*	*	*	*

注) *印の欄は、年度末に記載予定

自己評価	
A	十分達成できた
B	概ね達成できた
C	十分には達成できなかった
D	ほとんど達成できなかった

② 附属学校園の機能向上に関する事項

本年度の 重点目標	具体的な取組内容	自己点検評価	自己 評価 区分	学校関係者評価	改善策
教育実習指導のより一層の充実及び教育実習の改善 (中期計画 35)	①大学の实地教育運営委員会と協働し、教育実習指導や実習評価の改善に取り組む。 ②本校での教育実習生に対するオリエンテーション内容の充実を図る。	*	*	*	*
大学の方針に基づく教員養成及び実践的教育研究への協力 (中期計画 36)	①大学教員、附属学校園の教員と協働して「桃山地区附属学校園（幼小中）連携教育研究」に取り組む。	*	*	*	*
地域の教育力向上への貢献及び教育研究活動の成果の公表 (中期計画 37)	①本学教育創生リージョナルセンター機構との共催、京都府・市教育委員会の後援により、研究発表会を開催する。 ②教育委員会、学校関係者等の学校訪問を積極的に受け入れる。	*	*	*	*
業務改善及び教職員の働き方に関する取組の推進 (働き方改革)	①部活動のあり方を見直し、部活動運営方針の策定、休養日の明確化とともに教員の業務改善を図る。 ②校務の効率化、適正化に向けた行事活動の見直し、改善、精選を進める。	*	*	*	*

注) *印の欄は、年度末に記載予定